

清泉女学院大学・短期大学の求める教師像

清泉女学院の教育は、創立者聖ラファエラ・マリアの思いである **Education from Love、Education in Love、Education for Love** という言葉に集約されている。

本学教員は、創立者のこの思いを共有し、不断の自己研鑽によって、世界をより善いものとする女性の育成を使命とする。

本学教員は、カトリック大学教員として日本カトリック学校自己点検評価基準に示される通り、「キリスト教の理念に基づいて一人ひとりの個性を尊重した全人教育を行うとする積極的な意向」をもって、本学のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づく教育研究上の目的達成に取り組む。

また、大学全体としてのミッションの達成のため、各自が大学に求められている役割を認識し、他の教職員と協力して、円滑かつ効率的な大学運営に寄与する。

本学教員は、研究者として、学問の自由を尊び、研究倫理を遵守し、絶えず研鑽を積み、質の高い研究成果を生み出し、それをもって社会に貢献する。

本学教員は、地球の環境を共有する世界市民の一員としての自覚のもとに、すべての命がかけがえのない存在として尊重され、共に生きる真に平和な社会の実現への強い意志を持つ。

教員組織編成方針

- 各教育研究組織が掲げる教育研究目的達成のため、清泉女学院大学・短期大学の求める教師像に適う教員を様々な分野から広く求める。
- 教員の採用及び昇任は、建学の精神への理解・協力と大学教員選考・審査基準に定められた職位に対応する教育研究実績を前提に、教育、研究、校務遂行能力に関する公正で透明性の高い審査と手続きによって行う。
- ファカルティ・ディベロップメント及び調査・研究を促進し、高い質の教育を提供し、併せて、高水準の研究成果を上げることのできる教員組織を目指す。
- 学部、学科・課程ごとに文部科学省の設置基準に則った適正な人数の教員を配置する。
- 教員の年齢構成、男女の比率等に配慮し、常にバランスのとれた教員構成を目指す。